

編集後記

長かったコロナ禍もようやく終息の兆しが見え、これまでの日常が戻りつつあります。この3年間で、教育の現場では距離を保った会話や黙食が求められ、マスクをした友達や先生の顔しか知らない児童・生徒や学生が多くなってしまいました。その一方で、デジタル化が加速され、タブレットや電子黒板を使った授業がごく当たり前に行われるようになり、指導者側にはICT活用指導力がより一層求められるようになってきています。

そのようなICT活用指導力の向上及び教育データの利活用力をはじめ、義務教育9年間を見通した教員の養成、STEAM教育を先導する人材の育成、幼児教育と小学校教育との接続の一層の強化等々、現在の教員養成・学校現場は、多岐にわたる課題を抱えています。各教科教育学は、これらの課題にいかに向き合っていくべきなのでしょう。各教科の特性を生かしつつ、いかに他教科との連携が可能になるかを探っていくことが、喫緊の課題になると考えます。

今回初めて『教科教育学論集』が冊子での発刊から電子ジャーナル版での発行となりました。論集や研究会に関して、多くのみなさまからご指導やご支援をいただきましたら幸いです。最後になりますが、初めての電子ジャーナル版での発行に向けてご尽力いただきました美術教育の渡邊美香先生、表紙をデザインしていただいた美術教育の佐藤賢司先生、編集にご協力いただいた英語教育の篠崎文哉先生に、深く感謝申し上げます。

(音楽教育部門 兼平 佳枝)

教科教育学論集 第21号

発行 2023年 3月 28日
発行者 大阪教育大学教科教育学研究会
〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘 4-698-1
072-978-3736
(事務局：美術・書道教育部門 渡邊 美香)

表紙デザイン：佐藤 賢司
編集：兼平佳枝・渡邊 美香